



# ここにいるから Vol.05

発行 2021.11.1  
発行所 天草イルカラボ  
Mail info@dolphin-lab.com

## イルカの基礎知識 ②食性



イルカたちは、肉食動物です。海藻や、プランクトンは食べません。食べることで重要な器官が、口。イルカもクジラも同じ鯨類ですが、口の構造により、「歯クジラ」と「ひげクジラ」に分類されます。天草に住んでいる**ミナミハンドウイルカは、歯クジラ**です。口を開けると「歯」がびっしり並んでいます。意外と？すきつ歯ですね！

歯は、何かをくわえるために使います。咀嚼（そしゃく）もぐもぐかみ砕くことはしません。捕まえた餌は、頭からするつと飲み込むことができるように舌を使って上手に位置を整えてから、一気にごっくん、と丸飲みします。

魚がよいにも、イカをよく食べます。文献上、タコも食べますが、タコは食べ物というより遊び相手としているイメージが強いように思えます（あくまでも経験的主観です☆）。

天草のイルカたちが生息している二江地域はウニが有名ですが、とげとげしているウニや、貝類を食べることはありません。つついたりして遊ぶことはあります♪

イルカウオッチング中に、写真のように魚をくわえている場面に遭遇することもしばしばあります。よく見るのは、タイ類、バリ（スズキの仲間）、ボラ、かわはぎ、コチなどなど。よく見ると、そんなに大きな魚を飲み込めるの？と驚くほどのサイズだったりもします。

一度くわえた魚を離してしまうことも、しばしばみかけます。イルカの周りで海面に魚が浮かんでいるときは、イルカのかみ跡が残っているか要チェック！



### ひろみコラム

船上でキャプテンやガイドが魚をくわえていますよ～！と言ったときには、ぜひカメラを向けてみてください。飲み込むまで、しばらく、くわえたまま泳いでいたりしますので、ぜひ口元にご注目！

記事や活動についてのお問い合わせ

天草イルカラボ  
 amakusa\_dolphin

検索



イルカラボのオリジナルSDGs  
ロゴマークが完成しました～！  
この素敵なロゴマークが広まるように活動のほうも、頑張ります。

### イルカラボの目的は 人にもイルカにも優しい海

の実現です。天草にとって重要なイルカ観光業が、環境/経済/社会的に持続可能な状態に向かっていけるように願っています。

SDGsには17のゴールがありますが、大別すると、この3要素 **環境 経済 社会の調和** を目指していくための課題が示されています。

